



弥生3月。いつもなら春の気配に誘われてウキウキと外へ出かける季節ですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて皆が慎重に行動するようにとのお願いがされています。全国どこで感染が広がってもおかしくない現在の状況ですので、過度に恐れることはありませんが、健康管理、手洗い等必要な対策は十分にとっていたきたいと思います。「油断大敵」を肝に銘じつつ一日も早い流行の終息を願っています。

私が初めて市長に就任した平成22年12月に「第4次三島市総合計画」の基本構想が議決されました。その後、東日本大震災など様々な社会経済環境の変化に合わせて内容の見直しを図りながら、「ガーデンシティみしま」「スマートウェルネスみしま」をまちづくりの両輪に、市民の皆様と一体となってオール三島の体制で「元気な三島」を目指して取り組んでまいりました。その最終年度となる令和2年度は、重点プロジェクトを確実に推進して今後10年間の指針となる「第5次総合計画」へと繋げる、三島市の持続可能な発展を左右する非常に重要な年と考えます。新年度予算編成では3つの基本方針を定めて過去最大の一般会計予算を組み、市議会2月定例会にお諮りしています。

三島市長 豊岡 武士

令和2年度予算案

新たな希望に向かって持続的発展を図る積極型予算

一般会計 380億5千万円 (前年比6.0%増)

新年度は、東京2020オリンピック・パラリンピックの地元開催を契機に三島の魅力を世界に発信するとともに、企業誘致や三島駅南口周辺開発を全力で進めにぎわいと活気にあふれ継続的に投資を呼び込めるまち、各世代へのきめ細かなサービスや防災・減災対策など一層安心・安全なまちを目指します。

【令和2年度予算編成の基本方針】

1. 世界を魅了するガーデンシティと新たな時代に向けた賑わい・活力あふれるまちづくり
2. 元気で活発な市民を育むスマートウェルネスの推進と未来へつなぐ教育・文化の充実
3. コミュニティのきずなでつくる地域の安全・安心な暮らしと優しさあふれる子育て・福祉の推進

予算編成にあたっては、上記の3つの基本方針を定めて、積極的な予算配分を行いました。一般会計においては、三島駅南口周辺開発に向けた特別会計への繰出金や準備組合への補助金、整備の最終年度となる南二日町住宅改修工事、児童保育事業、市民文化会館設備整備事業の増額などにより、前年度当初予算を6.0%上回る過去最大の予算となっています。

三島市長 〒411-0035 三島市大宮町 2-14-20
豊岡たけし後援会事務所 TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159
E-mail : toyotake@mail.wbs.ne.jp
ホームページ <http://www.toyooka-takeshi.jp/>

ご注意ください

新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、三島市でも予定された行事を中止する場合がありますので、お出かけ前にホームページ等でご確認ください

家庭でできる感染予防対策

【対策1】咳エチケットを守りましょう！

マスクは、咳やくしゃみによる飛沫やそこに含まれるウイルスなどの病原体が飛び散ることを防ぎます。咳やくしゃみをする時は、ハンカチやティッシュ等で口と鼻を覆い、他人から顔をそむけ、1メートル以上離れましょう。

咳の症状があるときは、周りの人へうつさないためにマスクを着用しましょう。咳をしている人に、マスクの着用をお願いしましょう。

- ① 咳症状があるときは、マスクを着用する
- ② 咳・くしゃみの時はティッシュで口と鼻をおおう
- ③ 咳・くしゃみの時は周囲の人から顔を背け、1メートル以上離れる
- ④ 鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てる
- ⑤ 液体石けんと流水で手を洗う
※ ゴミ箱にはビニル袋をかける
ふたに手を触れずに廃棄できるゴミ箱を使う

マスクは正しく使いましょう

- 付け方
裏表を確認する
ノーズピースを鼻の形に合わせる
ひだを上下に伸ばし、下あごまでしっかりとおおう
- 外し方
マスクの表面に触れず、ひもを持って外す
外したマスクはその手でゴミ箱に捨てる
手指の衛生をおこなう



【対策2】手洗いをしましょう！

自宅に感染症を持ち込まないために

外出時は多くの人に触れた場所を自分も触れている可能性があるため、帰宅したら手を洗いましょう。アルコールで手指を消毒することも大切です。

家庭の中での手洗いのタイミング

- ・ 外出から戻った後
- ・ 多くの人に触れたと思われる場所を触った時
- ・ 咳・くしゃみ、鼻をかんだ後
- ・ 症状のある人の看病、お世話をした後
- ・ 料理を作る前、食事の前
- ・ 家族や動物の排泄物を取り扱った後
- ・ 自分がトイレを利用した後

外出中も手洗いのタイミングは同様です。洗面台もアルコールもない場合や、小さな子ども、手の不自由な高齢者は、アルコールを含んだウェットティッシュで両手をゴシゴシと隅々まで丁寧に拭くのも効果的です。

流水と石けんによる手洗い

- ① 手のひらにせっけんをとり、よくこすりあわせる
- ② 手の甲を伸ばすように洗う
- ③ 指先や爪の間をよく洗う
- ④ 指の間を十分に洗う
- ⑤ 親指と手のひらをねじり洗う
- ⑥ 手首を洗う
- ⑦ 流水でよくすすぐ
- ⑧ ペーパータオルでよく拭く



アルコールを用いた手指の消毒

- ① 手のひらに消毒薬をとり、よくすりこむ
- ② 手の甲に伸ばすようにすりこむ
- ③ 指先や爪先の内側にすりこむ
- ④ 指の間にすりこむ
- ⑤ 親指を手のひらでねじりながらすりこむ
- ⑥ 手首にもすりこむ

【対策3】環境消毒・換気をしましょう

咳やくしゃみなどの症状がある人が手で鼻や口をおさえると、手にウイルスがつきます。その手で手すり、テーブル、ドアノブなどに触れることで、ウイルスが環境表面につきます。そして、他の人がその場所を知らずに触り、自分の口、鼻、目を触れることで感染することがあります。

環境消毒

- 家族がよく触れる場所（部屋のドアノブ・照明のスイッチ・リモコン・トイレのレバー等）を消毒します。
- 1日1～2回、ドアノブ、テーブル、手すり、スイッチなど手のよく触れるところを、薄めた漂白剤（0.02%次亜塩素酸ナトリウム水溶液）またはアルコールを含んだティッシュで拭きましょう。
※漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム水溶液）を使用した場合は、拭いた場所がさびるおそれがありますので消毒後は水拭きしてください。

換気・空間の確保

- 感染症の伝播（うつる）を防ぐためには、部屋のウイルス量を下げるために、部屋の十分な換気を行います。日中は2～3時間ごとに窓や扉を開けるなどして部屋の空気を新鮮に保ちましょう
- 症状がある家族とは、できる限り部屋を分けましょう。症状がある家族の部屋は、窓のある換気ができる部屋にします
- 症状がある家族本人および同居の人は石鹸と流水でよく手を洗い、同じ部屋などで目安として1～2メートル以内で接するときは、どちらもマスクをしましょう

～感染予防に関するQ&A～

- Q. 感染した（疑われる）家族を看病する場合に気をつけることは？
- A. 可能な限り、看病を行う人は1人に限定しましょう。看病をする人をなるべく1人に限定することで接触のリスクを下げるができます。看病をするときは、手袋やマスクをつけ、使用したマスクや手袋などはビニル袋に入れて袋を閉じて捨てます。看病のたびにこまめに手洗いをを行います。看病する人も毎日2回は体温測定を行い、感染症状が出ていないか十分に気を付けましょう。
症状のある人：マスクを着用します
看護をする人：マスク・手袋を着用します

- Q. 食事の時、気をつけることは？
- A. 感染の可能性のある人と食事する際は、食器の共用は避けます。使用後の食器は、消毒液に5分以上浸した後、通常の洗浄を行えば、その後の他の人への使用は可能です。
食事は別々に盛り付け、大皿からの取り分けはしない

東北医科薬科大学医学部感染症学教室特任教授
東北大学名誉教授 賀来満夫先生監修
「新型コロナウイルス感染症

- 市民向け感染予防ハンドブック」より
※ 詳しい内容は東北医科薬科大学ホームページをご覧ください